

# 2018（平成30）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会  
なごみの里

## 1. 理念・方針

### （1）法人理念

#### ①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

#### ②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

#### ③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

#### ④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

### （2）中期目標

施設が地域の資源として、主体的に地域自治会（地域住民）と関わっていき、利用者、職員が地域とのつながりの中で安心して生き生きと活動できるようにしていく。

### （3）基本方針

#### ①生産活動の充実と地域との連携

#### ②利用者の主体性を培う

#### ③利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼を深める

#### ④心身の健康

#### ⑤APDL（応用的生活技術）の向上を目指す

#### ⑥利用者の安心・安全に努め、対策していく。

## 2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 40名（現利用者数：40名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 敷地面積 433.24㎡

延床面積 494.9㎡

建物構造 鉄骨造二階建て

賃貸区分 民間より賃貸

### 3. 職員構成

#### (1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名(兼務)
支援員 (常勤職員)	5名
保育士 (常勤職員)	0名
調理員 (常勤職員)	0名
事務員 (非常勤職員)	1名
支援員 (非常勤職員)	7名
保育士 (非常勤職員)	0名
調理員 (非常勤職員)	0名
看護師 (非常勤職員)	0名
理学療法士 (非常勤職員)	0名
作業療法士 (非常勤職員)	0名
合 計	14名

#### (2) 嘱託

医師 (4回/年)	1名
看護師 (4回/年)	0名
理学療法士 (1回/月)	1名
作業療法士 (2回/月)	0名
合 計	2名

### 4. 利用者状況

#### (1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0名	11名	16名	14名	1名	42名
身障手帳	1名	1名	0名	0名	0名	2名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳・精神保健手帳と重複

#### (2) 年齢構成 (平均年齢38.8歳)

	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上	合計
男	1名	6名	5名	8名	1名	3名	24名
女	1名	6名	3名	4名	2名	2名	18名
合計	2名	12名	8名	12名	3名	5名	42名

最低年齢 男…19歳 女…18歳 最高年齢 男…70歳 女…72歳

平均年齢 男…38.9歳 女…38.7歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	清瀬市	東久留米市	合計
35名	1名	1名	1名	1名	3名	42名

(4) 障害程度区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	1名	5名	6名	2名	0名	28名	42名

## 5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:00	作業・ラジオ体操
15:00～15:30	清掃
15:30～16:00	終礼

(2) 土曜日

8:30～9:30	朝礼
9:30～11:00	作業
11:00～11:30	掃除
11:30～12:10	昼食・昼休み
12:10～12:30	終礼

※状況により変更あり

## 6. 重点目標

(1) 生産活動の充実と地域との連携

- ①自主生産品を中心として地域の行事にも積極的に参加して交流を深める。
- ②施設への興味をもってもらえるような催事を企画し、地域への働きかけをしていく。
- ③地域の自治会や懇談会に参加し、地域・施設へのニーズを把握し連携を図る。

(2) 健康・衛生

- ①理学療法士による個々の運動プログラムをエアロバイク等の健康機器を利用し、肥満やケガの予防・機能維持ができるように個別支援計画にも活用しながら実行する。
- ②ダンス講師によるリズム体操を定期的（10回/年）に実施、保護者や地域参加も促して、楽しみながら体を動かし運動への動機づけとしていく。

- ③一般健診の他、歯科検診・口腔ケア（歯磨き指導）・婦人科・耳鼻科・眼科検診を実施し、健康状態を把握し家庭や医療機関と連携しながらアフターフォローしていく。

(3) 応用的生活技術向上に向けた支援の充実

- ①社会や地域で生活していく上で、必要なスキルを個々に検討し各行事や日課中の活動を通じて支援していく。（買い物・交通機関利用法・身だしなみ・清掃）
- ②支援していく為に必要な各関係機関・施設との関係づくりと有効活用。

(4) 作業

- ①回収・自主生産品の販路開拓（地域とのつながりも含め）、作業の主力の一環とする。
- ②自主生産品のごませんべい、各種チップスの生産効率化の為、設備・機器の修繕や導入、安全性を考慮した環境整備についても検討していく。
- ③作業種目

作業種目	内 容
受託事業	箱折り、ショッピングバック加工、段ボール組仕切り、シールはがし
清掃事業	中央公園、浅間山公園、白十字水やり・除草作業
自主生産品事業	ごま・各種ソース・納豆せんべい・バスポプリ
回収等事業	資源回収、（新聞・古紙・古着・段ボール・アルミ缶）
その他	自主生産品販売・段ボール作り（新光）などの出向作業

(5) 給食

- ①利用者の健康に配慮した食事提供など、給食会議を通して検討していく。
- ②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出などを工夫し、地域や保護者と共に楽しめる食事の場を提供する。
- ③選択メニュー（週2回）や食堂の環境など利用者の意見を取り入れながら、よりよく食事が楽しめるように工夫する。
- ④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
889 kcal	21,1 g	127,8 g	24,7 g	258 mg	0,47 mg	0,53 mg	38mg

(6) 自治会活動

- ①行事やクラブ活動を中心に、利用者に関わる日課中の事柄に対し積極的に意見や希望を伝えられる場を提供する。（月1回定期開催他、必要に応じて開催する）
- ②自治会の場において、プロジェクターを使用し、利用者に必要な情報をわかりやすく伝えていく。

(7) 行事

①クラブ活動

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	ビックエコー（東村山駅前店）	第4火曜日
ボウリング	久米川ボウル	第1・第3水曜日
お風呂	お風呂の王様（東久留米市）	第3火曜日

\*実施日は変更あり

②年間行事予定

	内 容
4月	歩こう会（保護者参加行事）
5月	グループ外出①
6月	日帰りバス旅行（保護者参加行事）
7月	炊き出し訓練①（地域・保護者参加） 宿泊旅行①（1泊2日）
8月	夏祭り（地域参加行事） 防災館体験 夏期休暇
9月	グループ外出②
10月	グループ外出③
11月	運動会（保護者参加行事） 宿泊旅行②（1泊2日）
12月	仕事納め（クリスマス会・保護者参加行事） 冬期休暇
1月	成人を祝う会（保護者参加行事）・宿泊旅行日帰り
2月	グループ外出④ 炊き出し訓練②（地域・保護者参加）
3月	不審者対応訓練

\*クラブ活動（ボウリング・カラオケ・お風呂）毎月1回・リズム体操 年10回

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①周辺地域の中で防災の拠り所としての役割を担うべく災害用品・食料の備蓄をより充実したものにする。
- ②防災計画に基づき月1回防災訓練・年1回自衛消防訓練効果確認・防災館体験年2回炊き出し訓練（地域・保護者参加）を警察署警備課と連携して実施。
- ③外部不審者に対する対応訓練を年1回、警察署防犯課の指導協力のもと実施。

(2) 事故防止

- ①事故に対する意識を高めるために、警察署交通安全課と連携し安全教室などを実施する。
- ②車両管理担当者を中心に車両の不良・消耗等の確認をチェックシートに記入、事故防止に努める。

③各送迎コースの道路状況や運転者の健康状態に留意し、事故防止に努める。

## 8. 地域との交流

- ①自主生産品販売（地元行事参加）や作業（受託・回収）を通じて地域の中に関わりをつくっていく。
- ②地域懇談会や自治会に参加し、福祉施設についての相互理解を深める。
- ③施設の開放行事・防災訓練などに周辺地域の方々への参加を促す。

## 9. 実習生の受け入れ

- ①地域の特別支援学校などより実習を受け入れ体験の場を提供する。
- ②大学などの実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

## 10. 父母会、親の会との連携

### （1）父母会

- ①保護者の施設に対する理解・協力を頂けるよう、年に10回保護者会を開催する。
- ②毎月の予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。
- ③保護者参加の行事や作業などを通じて、相互理解を深め家庭との情報共有に努める。

### （2）親の会

- ①共催行事を通して、協力していく。

## 11. 職員研修

- ①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識（虐待防止・権利擁護など）を広め、職員の高質の向上を図る。（社協他関係機関、民間企業主催の研修会等）
- ②研修部会などを活かした取り組みを行う。

## 12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	施設運営・行事全般
評価会議	2回／年	アセスメントの見直し
給食会議	10回／年	委託業者との検討会議
ケース会議	3～4回／月	利用者個々について
個別支援計画会議	2回／年	各ケースの支援計画について
自主生産品会議	1回／月	自主生産品について
リスク会議	6回／年	リスクマネジメントについて

### 13. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

#### (1) 苦情解決

担当窓口及び第三者委員を設置し、親切丁寧に対応する。

#### (2) 個人情報保護

情報の重要性を認識し、適切な保護に努める。

#### (3) 権利擁護・セクシャルハラスメント防止

各種研修に参加し、意識をもって取り組む。また、担当窓口を設置し丁寧に対応する。

#### (4) 虐待防止

担当者を配置し、虐待行為を未然に防げるように対応する。

#### 苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子（施設長）	042-395-5700
担当者	金子 伸一（支援員）	同上
第三者委員	端山 幸子（元東村山社協）	同上

#### セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子（施設長）	042-395-5700
担当者（男性）	松井 天平（支援員）	同上
担当者（女性）	江川 美樹（支援員）	同上

#### 虐待防止

	氏名	連絡先
責任者	国米 淳子（施設長）	042-395-5700
担当者	加藤 譲太（支援員）	同上